

南あわじ市平成 20 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(団体用)

I 基本事項

整理番号 441

事業名	縁結び事業推進協議会負担金		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	健康福祉部	少子対策課		款	民生費・3款
電話	0799 - 44 - 3040			項	児童福祉費・2項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)		目	少子対策費・7目
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務				
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	安らぎづくり_元気あふれ_住んで快適なまちづくり_			
	まちづくりの目標	子どもを産みたい_育てたいまち[子育て]			
	施策目標	子どもや要介護者をもつ共働き夫婦などが、安心して生活できるよう、地域全体で支える			

II Plan&Do (計画・事業内容、団体内容、投入資源)

団体の概要	(どのような団体か)						
	未婚者の出会いの場の創生事業「ハッピーマジック」の会、未婚者の出会いの場所の提供等を円滑に推進する「ハッピー応援団」を設置し、未婚者の結婚のきっかけづくりを目的とする。						
	(構成員内訳)						
	市長を会長とし、市内各種団体の代表者、企業の代表者等に役員に就任して頂いている。					役員構成人数(人)	
						14	
	事務局の所在 (直接事務執行部署)	<input type="checkbox"/> 補助団体	<input checked="" type="checkbox"/> 市役所	<input checked="" type="checkbox"/> 市単位	(少子対策課)		
				<input type="checkbox"/> 旧町単位	()		
				<input type="checkbox"/> 旧村単位	()		
	団体の概要	活動対象(誰を・どのような状況の人を)					
		市内の未婚者を中心に(市内だけだと交流が難しいため)市外の未婚者にも呼びかけた。					対象人数
					120		
活動目的(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 未婚・晩婚化の解消のための出会いの場づくり							
団体の概要	(主な事業、具体的な活動内容等)						
	月1回のイベントを実施し出会いの場を提供するとともに「おたすけ企業」(40社)の協力により安価に実施。事業費は受益者負担を原則に展開している。 『ハッピーマジック』会員数 ・市内会員 80名 ・淡路・洲本会員 30名 ・島外会員 10名						
	年間70万円の定額制としている。						
補助金算出根拠							
補助交付期間		<input type="checkbox"/> 平成	年度	~	平成	年度	
						<input checked="" type="checkbox"/> 設定なし	
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)						
	<input type="checkbox"/> 旧緑町	<input type="checkbox"/> 旧西淡町	<input type="checkbox"/> 旧三原町	<input type="checkbox"/> 旧南淡町	<input type="checkbox"/> 旧広域事務組合	<input checked="" type="checkbox"/> 新市から	

		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
資源配分 (イベント)	直接事務費 (千円)	0	1,000	700	700
	縁結び事業推進協議会負担金		1,000	700	700
	事務局事務費(市が事務局の場合)				
	財源 (千円)				
	国				
	県				
	起債				
	その他				
	一般財源[A]	0	1,000	700	700
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	1,204	1,674	1,674
	平均人件費(1日当り)	29.9	30.1	27.9	27.9
	事業量1(事業に要した日数)		20	30	30
	事業量2(事業に要した人数)		2	2	2
	年間経費([A]+[B])	0	2,204	2,374	2,374
	「目的」対象一人当り経費 (千円)	0.0	18.4	19.8	19.8
受益者人数(120) 1人当り経費(千円)	0.0	18.4	19.8	19.8	
経費に関する 補足説明	総務費は、広告宣伝費が主であり会員増に努めている。 交流事業費は、借上げ料が主であり、イベント時の施設の借上料やバス等の借上料である。				

Ⅲ Check (事業の自己評価・一次評価)

費用対効果	(費用対効果の分析、問題点・課題などを記入。) 本協議会は、平成19年8月に設立され、「ハッピーマジック」の会員等の募集を行い、5つのイベントを実施した。今後は、会員の増強と県の「こうのとりの会、出会いサポートセンターと連携した事業展開を行い、島外との交流を深める。しかし、個人情報保護の観点から結果が得にくい。	自己評価 (5点評価)						
		4						
必要性	公共性の高低 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 (公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 未婚化・晩婚化は少子化の原因の大きなウエイトを占めていると考えられる。南あわじ市の30歳～40歳の未婚率が県下でも顕著に高く表われており、本協議会の行う事業の必要性は高い。	自己評価 (5点評価)						
		4						
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 『ハッピーマジック』では、当初は食事会を中心に事業を展開してきたが2時間では結果が得にくい、今後はできるだけ遊びを通じた仲間づくりの技法に転換する必要がある。また本事業の効果はすぐに表れるものではなく評価はしにくい。しかし、結婚のきっかけづくりとしての施策としては有効と考えられる。	評価グラフ <table border="1"> <caption>評価グラフ</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用対効果</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>必要性</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	項目	評価	費用対効果	4	必要性	4
項目	評価							
費用対効果	4							
必要性	4							

IV Action&Plan (改善・改革の内容及び次年度以降の計画)

	平成21年度にできる改善・改革	平成22年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減
	少子対策は、市の方針として総合計画・施政方針にも謳われている重点施策であり、短期間で効果が現れる事業でもないため、継続して取り組んでいく必要がある。	同左
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果		
(現状維持の場合も記入)	仮に 補助金、交付金を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 少子対策に歯止めをかけるには、昨今の晩婚化・未婚化を解消する必要があり、本事業は効果的であると思われる。	